

idea

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。
ニュースレター アイデア

2013
8月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



～ も く じ ～

- 2 | いちのせき市民活動センター活動紹介
- 3 | 団体紹介～一関・大東大原水かけ祭り保存会 ～(大東)
- 4 | 地域紹介～一関市真滝2民区 ～(一関)
- 5 | 企業紹介～株式会社 千厩マランツ～(千厩)
- 6 | 歩が行く～紙布織り体験 ～(東山)

いちのせき市民活動センター

活動紹介



- ①市民活動相談支援
- ②情報発信・収集、啓発支援
- ③地域への参画支援
- ④話し合い支援
- ⑤他事業との連携
- ⑥地域協働体への組織づくり支援

いちのせき市民活動センターが、
行っている活動の御紹介をいたします。

今年度の話し合いのテーマは

話し合い支援 川崎まちづくり協議会



話し合いの様子

川崎まちづくり協議会とは、川崎地域の将来を考える団体や住民など合計40名で組織される会で、明るく、住みよい、豊かなまちづくりに取り組むことを目的に平成23年3月に結成。川崎公民館を拠点に話し合いを重ね、平成25年～35年までの地域事業計画を「川崎まちづくりビジョン」という1冊の冊子にまとめました。平成25年度からは、話し合いのテーマを「門崎小学校の利活用」と設定。廃校になった門崎小学校の校舎を地域で有効利用するため、ワークショップ形式で要望を出し合いました。今回は「校舎、体育館、校庭を分割して利用したい」「外部の若者との交流の場として、校舎に宿泊設備を備えたい」等、他にも多くの意見が積極的に出されていきました。

区長懇談会で紙芝居上映

協働への取り組み 協働の紙芝居



舞川区長懇談会の様子

先月号でお伝えした、協働をわかりやすくストーリー化した「協働の紙芝居」について、7月2日～12日に行われた一関地域の行政区長懇談会で披露する機会をいただきました。全8地区の懇談会で、約25分間にわたる紙芝居をパワーポイントに置き換えて上映。区長さん達を前に、あまりの緊張から操作する手も震えっぱなしでしたが、なんとか全ての地区を回り終えることができました。上映中は、区長さん方は真剣に紙芝居を見つめており、終了後の質問・意見の時間では、「私の行政区でも、紙芝居と同じで5年で変わってしまった。たった5年だよ。」という意見や、「私の地区でも同じ課題があるけど、こんな取組をしてくるよ。」という興味深い情報もいただきました。

登米市の地域づくり計画

窓口業務 事業所の個別相談



ホワイトボードで現状を整理しながら、相談者と一緒に話し合う副センター長

一関市では現在、各地域公民館単位で協働が進められておりますが、宮城県登米市では、すでに公民館が住民の地域活動の拠点となり、管理運営までもが主に住民や団体の手で行われています。今回は、その公民館運営に携わっている団体から事業の進め方についてご相談を受けました。その内容は「登米市の地域づくり計画を、住民を交えたワークショップで決めていきたいが、どんな進め方をすればよいかアドバイスが欲しい。」というもの。対応したスタッフは、「一関市の協働の進め方や川崎まちづくり協議会のビジョン策定のスケジュールや内容を伝え、また、今後ワークショップの進め方や会議設計、ファシリテーション講座等を要望がありしだい行うことにしました。」

一関・大東大原水かけ祭り保存会

団体 紹介



いさお
鈴木 功 会長

～基本情報～

◆会長：鈴木 功^{いさお}さん

◆事業局

〒029-0711

一関市大東町大原字川内 5-1（大原公民館内）

TEL：0191-72-2282 FAX：0191-72-3965

江戸時代から形を変えない祭りを未来へ

地域の絆を深め、交流の場をつくります。

水かけ祭りの起源

大東町大原で毎年2月11日に行われる「一関市・大東大原水かけ祭り」は、身も凍るような真冬に、街道を駆け抜ける裸の男達に水を浴びせるといふ、「天下の奇祭」といわれるお祭りです。そのお祭りを長年守り続けている水かけ祭り保存会の活動を紹介します。

大原水かけ祭りの歴史は、今から356年前、1657年（明暦3年）に、江戸で起きた大火事が由来とされています。死者10万人にも上ったこの大火事の原因は、寺で遺品の服を燃やした時の火が火種とされ、ており、別名「振袖火事」とも呼ばれます。火事が起きた旧暦の一月十八日を厄日と定め、火防祈願や火防宣伝、そして厄除^{やくよけ}を目的に水かけ祭りが行われていました。昭和48年より祭日を2月11日と定めまし。近年では無病息災や家内安全を祈って来る方も多いそうです。

「参加型」を基軸に

この祭りの運営管理を任されているのが、一関・大東大原水かけ祭り保存会です。この会は、大原地区

全世帯で組織し、総勢約100名の会員で構成。その統括をしているのが会長である鈴木さんです。鈴木さんは、保存会に関り9年目になるベテラン会長さんです。

大原水かけ祭りと言えば、白装束を着た男性が水かけされている場面を真っ先に思い浮かべますが、お祭りの中では他にも見所がたくさんあります。例えば、女装をした男性が厄年の家を周り、厄を払う手踊りや、大しめ縄行進^{かせつ}、加勢^{かせつ}と呼ばれる子ども達の行進、中学生による立志おみこし、消防団員の纏振り^{まと振り}等。今年も、市外から鹿踊り、虎舞、太鼓等、合計10団体が演目を披露し、祭りを盛り上げました。

そして一番のメインとなる水かけでは、地域内外から集結した280名近くの男性が血気盛んに街道を駆け抜け、冬の寒さを吹き飛ばします。元々は褌^{みそぎ}をモデルにした神聖な行事なため、衣装は白以外認めません。この水かけに出て修練を積もうと、警察署や岩手銀行、NEC等は毎年職場単位で研修を兼ねて参加。東日本大震災以後は、「復興を頑張りたい」と願いを込め山田町の水道事業所等、沿岸各地からも約40名の方が参加。「水かけの良い所

は、練習がいらぬということですね。」と鈴木さん。地元では、厄年の男性が参加しますが、地元以外は年齢関係なく体と気持ちががあれば、男性は誰でも参加できる祭りです。

結びを育む

そして、水かけ祭りの良さ、楽しみは夜にあります。水かけ終了後、大原地区では厄年を迎えた人の家に水祝儀を持ってお酒を飲みに行くという風習があります。地元住民にとっては夜が本番であり、この交流があるからこそ意味があり、人同士の結びつきを作りあげるのである。

「水かけ祭りは、『参加型』のお祭りです。私達の方だけで祭りを続けるのは難しいから、外に参加協力を呼びかける。これは、協力してくれた皆さんの力があってこそできるお祭りです」と鈴木さん。これからも地域の伝統を未来に繋ぎ、冬の寒さを吹き飛ばす、熱い祭りを楽しみにしていきます。



大原公民館に飾られてある水かけ祭りのポスター

一関市真滝2民区

地域紹介



千葉 裕 さん

～基本情報～

◆会長：千葉 裕^{ゆたか} さん

(平成25年度新任)

◆128世帯447人が暮らす一関市狐禅寺の真滝2民区。子供たちの自然体験指導もしている就任3か月の新人区長の想いをお尋ねしました。

地域の将来を担う人づくりで地域に貢献する新人区長

高齢者が元気な地域

県道一関・大東線が縦断し、区内に県立磐井病院、南光病院を抱える真滝2民区は、一関中心市街地から北東2km、磐井川の下流東側に位置しています。

恒例行事として、文化体育部を中心に毎年8月13日に盆踊りを開催。ビールや焼き鳥、綿あめの屋台を出したり抽選会を行うなどの取り組みをしている真滝2民区ですが、今年度改選期で新区長が誕生しました。千葉裕さん(65歳)です。

地域の自慢を尋ねると「とにかく高齢者が元気なこと」を真っ先に挙げた千葉さん。「早朝の草刈りでも、呼びかければ多くの人が参加してくれるし、自分の家周りにとどまらず自主的に草刈りをしてくれる方がいるのにも頭が下がる。また、狐禅寺地区が市民体育大会で優勝したグラウンドゴルフに熱心な方も多く、それが高齢者の潤滑油になっているようです。本当に元気な人が多い。」

『言うは易し行うは難し』

区長就任から3か月、「広報物は班長さんの負担も考えて優先的に処理しています。仕事の関係で昼間の会議には出席できないこともあり、周囲で自分より10歳も上のよう

な方達が熱意をもって区長を務めているのに比べれば、自分はまだ腰を据えて区長職に取り組めていない部分もあると自覚しています。理想はあっても現実としては難しいことも多く、まさに『言うは易し行うは難し』ですが、気負わず出来ることから取り組んでいきたいと思っています。」と決意を語ってくれました。

先輩の遺志を継ぐ

東山町出身で、引越して20年ほどになる千葉さん。現在花泉のNPO法人の理事長も務めており、環境調査活動のほか、学童保育を通じて児童の健全育成に携わっています。

また、狐禅寺公民館の事業である寺子屋の「こぎつね学級」では、「小さいころからいろんなものを見たり触ったり臭いをかいだりすることで、様々な局面での対応力が身につく。そんな子供たちに将来の狐禅寺を支える人材になってほしい。」という想いを持って、月1回田植えや鳥・昆虫・植物の観察などの自然体験を、子供たちに指導しています。

そんな千葉さんが、子供たちへの自然体験活動指導をするようになったのも、ひいては行政区長を引き受けることになったのも、あるひとりの先輩との出会いがきっかけだったそうです。

「同じ地域に住んでいたその方は会社の先輩で、ボーイスカウトなどの活動を活発に行っており、学校の週5日制導入の際は、子供たちの受け皿にと狐禅寺公民館と協力して寺子屋創設にも尽力されました。病気の為にまだ50歳過ぎの若さで逝去されたのですが、生前よく『お前たちはな、定年過ぎたらのほほんとしてられねえんだ。地域で何か還元しなくちやなんねえんだ。今から考えておけ。』と語っていました。」故人の思い出をひとつひとつ、しみじみとそう話してくれた千葉さん。「言ってみれば私は、その先輩の門下生のようなものなんですよ。」

一関市の行政区長の数は450人を超えるそうですが、今年度何人の新人区長が誕生したでしょうか。ひとつ言えるのは区長さんの数だけ「区長になるまでのストーリー」や「区長としての想い」がきつとあるということ。そんなことを感じた取材でした。



自然体験を通じて地域を背負う人材に

株式会社 千厩マランツ

企業 紹介



代表取締役社長 及川 宏さん

～基本情報～

- ◆代表取締役社長：及川 宏さん
- ◆事業所：
〒029-0803 一関市千厩町千厩字下駒場 254
TEL：0191-53-2321/FAX：0191-53-2323

学生の心へ伝える～地域での「ものづくり」～

感謝の心をいつまでも

昨年、市内全戸配布されたFMあすも専用ラジオを製造した(株)千厩マランツは昭和50年、(株)日本マランツの生産子会社として(株)スタンダード通信機千厩工場という社名でスタート。親会社の海外生産が主流となり、他工場の閉鎖が相次いだ平成9年頃、同社は以前よりOEM(相手先ブランドの生産)を開始していたことから、親会社からの独立を決意。「あの頃は、旧会社の整理解散と新会社設立を同時進行させるという貴重な経験をしました。」と語る同社取締役社長の及川さん。新体制となった(株)千厩マランツを振り返り「取引先からの御理解と御支援、そして、なによりも従業員の献身的な協力があり順調にスタートができたのです。」と「感謝の気持ち」を大切にしています。その気持ちは、地域へも溢れていました。

毎年お盆休み前に開催する「納涼祭」は千厩マランツ社員会が中心となり、工場周辺住民を招き地域交流を深めています。「納涼祭」の前身は旧工場で開催していた盆踊り大会。

「当時は抽選会が目玉で近隣住民も社員も楽しみにしていた行事です」

とのこと。現在、抽選会はありませんが、「焼肉とビール」と、とても素晴らしいコンビで地域住民をおもてなし。旧工場時代の盆踊り大会から20年続く交流会とのこと。

次世代への架け橋へ

一関市内では、17企業が会員となっている北上川流域ものづくりネットワーク。同社も加盟しており、次世代を担う児童・生徒に対し積極的な工場見学、体験学習を行っています。

また、地元の千厩高等学校では、及川さん自ら出前講座を行い【地域でのものづくり】【社会人としての心構え】を講話。「少しでも、自分が生まれ育った地域企業を知り興味をもってもらいたい」と語り、講話を聞いた生徒の感想文を眺めていました。

さらに、学生らが夏休み等の期間を利用した長期インターシップ受け入れや、同校産業技術科のキャリア教育も行い、地域での【ものづくり】への理解や、地域で働くことの大切さを伝えています。

クラシックシイタケの栽培

電子業界にこだわらず、アグリ分野にも取り組んでいる同社。工場の空きスペースを利用した椎茸栽培の特徴は、同社が製造したハイエンドオーディオシステムでクラシック音楽を聴きながら育つという過程。

「なぜ椎茸なのですか？」という私の問いに同社は「基盤に細かい部品をつける業務で、定年前に老眼で辞めてしまう従業員もいました。そういった従業員も大切にしたいと思い、椎茸栽培であれば老眼を気にせず、安心して定年まで働けるのではと感じたのです。」と語り、工場施設内を案内していただきました。

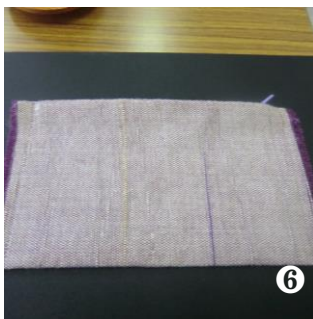
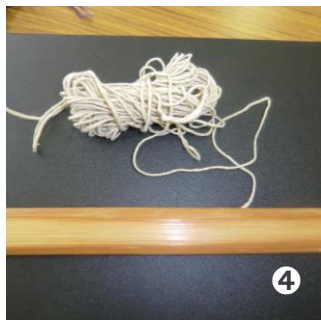


クラシック音楽を聴きながら、シイタケはすくすくと育っています。

◆◆◆◆センタースタッフの体験レポートです◆◆◆◆

歩 が 行 く

◆一関市東山町田河津公民館で「紙布織り」を体験しました◆



①今回は東山町の田河津公民館にお邪魔させていただき、機織り教室に参加してきました。

②こちらが機織り機です。この教室の先生は秋田出身の菅原美保子さん。縁あって東山町へ嫁いでこられました。この機織り機も先生が秋田から持ってこられたものです。

③先生からご指導をいただきながら、体験中！！足のタイミングと手のタイミングにコツがいることを知りました。

④この、白い糸状のものが、東山和紙でございます。

⑤東山和紙を短冊状にカットし、一本の糸のように指先でクルクルと細くし「杼」（下の木の棒）に巻き付け完成。開口した経糸の間に杼を通し通った緯糸を箆で手前へ打ち込みます。

⑥約2時間の体験で30センチほど織り上げました。記念にいただけてきました。

一関市東山町の歴史

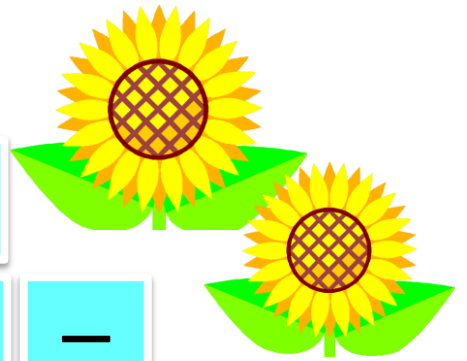
一関市の東部に位置する東山町は、日本百景にも選ばれている狛鼻溪の舟下りや、日本最古の鍾乳洞と言われている幽玄洞、また、宮沢賢治が技師として働いていた「旧東北砕石工場」など、豊かな自然と観光資源に恵まれています。さらに、平泉・藤原文化遺産の一つとして受け継がれている東山和紙は、東山町の紙生里地区が発祥の地とされており、丈夫で素朴な特徴を持ち、特産品として有名です。

さて、この東山和紙を使用した、「紙布織」が体験できるとのことで、私は東山町田河津公民館へお邪魔致しました。田河津地区は、「菅公夫人の墓」と言われる史跡があり、地元住民の手で長く守り伝えられてきました。公民館へ向かう途中、看板を発見しましたが、こちらは次回に・・・私が向かった田河津公民館は、簡易郵便局が併設し、同じ敷地内には児童館があり、子どもたちのにぎやかな声が響いていました。

私が織った世界で一つの紙布織

今回、機織り教室に参加されていた方は、地元の主婦3名。「今年は何、帯状のままじゃなくブックカバーや、筆入れのように、作品にして文化祭に出展することが目的なのよ」と、教えてくれた機織り教室の生徒さん。先生の熱心な指導で、私は何とか30cmほど機織りすることができました。足と手のタイミングが合わなかったり、箆で手前に打ち込むとき力が足りなかったりとコツがいりましたが、自分の作業に感動してしまいました。私は今何に仕上げようかと、非常に悩んでいるところです。さて、この機織り教室は月に1回のペースで全8回開催しています。見学や体験も事前にお問い合わせいただければ対応可能とのことです。連絡先は【田河津公民館0191(47)2349】まで。対象は大人でも子供でも可能ですが、機織り機が3台しかないのに参加者は交代で使用願うとのことです。機織り機に触れることはめったにない機会なので良き体験となりました。

イ ベ ン ト



ボ ラ ン テ イ ア

情 報 コ ー ナ ー



8月は各地域夏祭りイベントが満載です♪ぜひ、お近くの夏祭りに参加してみたいか？詳細はこちらから…



一関夏祭り

豪華絢爛な七夕飾りが商店街を彩り、市民総参加のくるくる踊り大パレードや須川サンバなど、今年も多彩な行事が3日間にわたり繰り広げられます。

【日時】平成25年8月2日(金)～8月4日(日)
2日：午後1時半～午後8時45分
3日：午前11時～午後9時15分
4日：午前10時～午後7時
【場所】一関大町・地主町商店街など
【料金】無料(駐車場料金有)
【問い合わせ】一関夏祭り実行委員会
【電話】0191-23-3434(商工会議所)

藤沢野焼祭

自らが製作した作品を縄文時代の製法そのままに、2日間で焼き上げる夏の一大イベント。16基もの窯から一斉に燃え上がる炎は感動そのものです。

【日時】平成25年8月10日(土)～8月11日(日)
【場所】一関市藤沢町 藤沢運動広場
【料金】観覧無料
【問い合わせ】藤沢支所 産業経済課
【電話】0191-63-2111

摺沢・水晶あんどん祭り

大東町摺沢に産した水晶をかたどった六角形のあんどんが商店街を幻想的な情緒で包みます。また、夜店出店やイベント等楽しい企画があります。

【日時】平成25年8月13日(火)～8月15日(木)
午後7時から午後9時
【場所】一関市大東町 摺沢商店街
【料金】観覧無料
【問い合わせ】摺沢・水晶あんどん祭り実行委員会事務局
【電話】0191-75-3160(摺沢地区商工振会)

大原だるま祭り

8月15日大東大原地区の翌年に成人式を迎える若者たちと地元小学校の子供たちが手作りのジャンボだるまをかつぎ、無病息災を祈願しながら大原商店街を駆けぬけます。

【日時】平成25年8月15日(木)
午後7時から
【場所】一関市大東町 大原商店街
【料金】観覧無料
【問い合わせ】大原だるま祭り実行委員会事務局
【電話】0191-72-2282(大原公民館)

かわさき夏祭り花火大会

県内で一番大きい「2尺玉」や大迫力の「スターマイン」など、大小1000発の花火が夏の夜空を彩るお祭り「おらが自慢のどっかい花火大会」は、今年も下記の日程で盛大に開催いたします。

【日時】平成25年8月16日(金)
午後7時から
【場所】一関市川崎町 北上川薄衣堤防付近
【料金】無料(有料観覧席あり)
【問い合わせ】かわさき夏祭り実行委員会事務局
【電話】0191-43-2440(一関商工会議所川崎支所内)

さくらなみき自閉症美術館 第6回企画展

「新たなる出会い」～THE WORLD THAT WE DO NOT KNOW～【特集】沖縄・千葉・青森の自閉症児者の作品を展示いたします。新たな出会いを堪能下さい。

【日時】2013年7月6日(土)～8月31日(日)
午前10時～午後6時(日曜日のみ午後5時まで)
※夏季休業8月13日(火)～8月16日(金)
【場所】さくらなみき自閉症美術館
【料金】観覧無料
【問い合わせ】さくらなみき自閉症美術館
【電話】080-8204-2909

2013 高校生集まれ！ バンドフェスティバル in Fujisewa

真夏の暑さをさらにヒートアップさせる高校生バンドの競演！ど派手なパフォーマンス・迫力あるサウンド・彩り鮮やかな照明が生み出すライブを体感せよ！

【日時】平成25年8月4日(日)
開場午後1時／開演午後2時
【場所】藤沢文化センター「縄文ホール」
【料金】入場料無料(入場整理券が必要です)
【問い合わせ】同実行委員会事務局
【電話】0191-63-5515(藤沢文化センター内)

ふるさと夏の音楽会

川崎公民館では下記の日程に「ふるさと夏の音楽会」を開催いたします。フルート独奏やバス独唱、ピアノ独奏など普段は体験できない音楽の世界を感じることができるのではないのでしょうか？

【日時】平成25年8月11日(日)
開場午後1時半／開演午後2時
【場所】川崎公民館
【料金】入場無料(先着順)
【問い合わせ】伊東
【電話】050-3562-1735

いちのせき 市民活動センター

センターの連絡先はこちら



住所：一関市大町 4-29
なのはなプラザ4F
電話：0191-26-6400
FAX：0191-26-6415
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：6名

ホームページ：<http://www.center-i.org/>

せんまやサテライト

サテライトの連絡先はこちら



住所：千厩町千厩字町 149
電話：0191-48-3735
FAX：0191-48-3736
営業時間：朝9時～夜6時
休館日：日・祝
スタッフ：4名

メール：center-i@tempo.ocn.ne.jp



FMあすも

小野寺副センター長出演の、「人育て地域育てのコーナー」（毎週水曜日、11時半～）の一部を紹介します。

◆7月3日放送「地域貢献と社会貢献」

「地域貢献」「社会貢献」と聞くと、みなさんはどんなことをイメージしますか？言葉を聞くと、難しそうと思う方もいるかもしれませんが、私達は何気ない生活の中で、地域貢献や社会貢献をしています。よく「積極的に貢献しましょう！」という呼びかけがありますが、貢献とは無理して行うことではないのかなと思うこともあります。



8月のまちのお知らせ

1	夏科初展（絵馬～郷土に伝わる祈りと願い）～9/7まで（大東） テーマ展「異国の香り-江戸の好奇心」（一関）	17	第30回ふじの実盆踊り大会（藤沢）
2	いちのせき夏祭り（一関）	18	
3	花泉夏祭り・日本一のもちつき大会（花泉） いちのせき夏祭り（一関）	19	819（バイク）の日ワコンインスポーツ走行（藤沢）
4	2013 高校生生まれ！バンドフェスティバル in Fujisawa（藤沢） 花泉夏祭り・日本一のもちつき大会（花泉） いちのせき夏祭り（一関）	20	
5		21	
6		22	
7		23	
8		24	飛ヶ森高原まつり～25日（千厩）
9		25	大東高校琢磨祭（大東）
10	縄文の炎・藤沢野焼祭～11日（藤沢）	26	
11		27	
12		28	
13	摺沢水晶あんどん祭り～15日（大東）	29	
14	第239回せんまや夜市（千厩）	30	
15	大原だるままつり（大東）	30	
16	おらが自慢のでっかい花火大会（川崎）	31	



お知らせ

◆平成25年度志民のための成長戦略 8月講座

8月31日（土）首都大学東京准教授の山下祐介さんを迎え地域づくり講座Ⅰを開催します。地域づくりの根本的背景ともいえる”限界集落問題”を理解することで、真の地域づくりへの機運を高めます。

講演「限界集落問題を考える」

- ① 室根曲ろくふれあいセンター 10:00～12:00
 - ② 千厩農村勤労福祉センター 16:00～18:00
- ※①と②は同一内容です。

受講料 無料

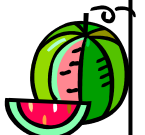
今月の表紙



この写真は、大東町興田京津畑地域にある「山がっこ交流施設」。かわいらしい“ひよっこ”が、出迎えてくれました。

編集後記

車を走らせていると、セミの声が聞こえました。「夏だな～」と感じましたが、7月後半は、雨続きでしたね・・・8月はどんな天候になるのでしょうか？体のためにも、水分補給をこまめに行いましょうね！！



あなたの「知りたい」に、担当スタッフが答えます。

Q1 最近よく聞く「ワークショップ」ってなんですか？

A1 会議等の場において、課題解決やアイデア創出のために、参加者が平等な立場で自由に意見を出し合い一緒に作業したりする手法のことです。